

## ～太陽の下でお勉強～

## 嬭恋村の太陽光発電所で青空環境教室を開講しました！

6月2日、株式会社ケン・コーポレーションが群馬県吾妻郡嬭恋村に設置した2MW規模のメガソーラーの竣工式で、地元の幼稚園児を招待した青空教室が行われ、その講師をそらべあ基金が務めました。

参加してくれたのは、嬭恋村の幼稚園に通う年長児36名。太陽光発電所の竣工式に相応しい晴天の中、たくさんの太陽光パネルが目の前に広がる芝生の上での青空教室となりました。

授業ではまず、太陽光パネルがどのようなものなのかを知ってもらおうと、用意した小型の太陽光パネルに触れる体験をしてもらいました。初めてパネルに触った子どもたちからは、「ツルツルしている」「冷たい」などの感想が上がります。なかには、不思議そうに太陽光パネルの裏面を眺めている子の姿もありました。

そして、実際に触って見たパネルが、目の前に広がるたくさんの太陽光パネルと同じものであると伝えると、子どもたちからは「これで(ゲームを)じゅうでんできる?」などの質問も飛び出しました。

普段は教室のなかで行うことの多い環境授業ですが、こうして実際の太陽の下で学ぶことで、太陽光発電や自然エネルギーをより身近に感じる事ができたのではないのでしょうか。今回の授業がきっかけとなって、自分たちの暮らす嬭恋村で電気がつくられていること、お日さまのチカラで電気が生まれることを感じてもらえたらうれしく思います。

ご参加いただいた関係者のみなさま、ありがとうございました！

そらべあ基金  
事務局の  
つぶやき

そらべあサポーターズクラブのみなさま、こんにちは。そらべあ基金事務局の古山です。

9月2日～4日に東京ビックサイトに開催された「第80回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋2015」に、そらべあのデザイナーであるShinzi Katoh先生の雑貨が展示されていたので伺ってきました。

東京ビックサイトを全館使って開催された、日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市であるこのイベント。多数の出展があるなかでも、Shinzi Katoh先生の商品が展示されているブースは、可愛いイラストやグッズが並べられ、一目目立っていました。ウルトラマンやPokemon(ポケモン)、ディズニーなど人気のキャラクターとのコラボレーション作品は本当に可愛く、個人的に購入しようか真剣に悩んでしまいました(笑)。

そらべあのコーナーでは、そらべあ便りや絵本と一緒に、新しく出たマスキングテープが展示されていました。箔入りできらきらしたテープはとても可愛く、いろいろな用途に使えてオススメです。このマスキングテープは、シール堂印刷さんのオンラインショップで好評発売中です。興味のある方はぜひのぞいてみてください！



シール堂印刷様オンラインショップ

<http://store.seal-do.co.jp/shopdetail/000000000529/>

こちらのQRコードからもアクセスできます▶



## そらべあサポーターズクラブ

プレミアムサポーター：ソニー損害保険(株)  
オフィシャルサポーター：ソニー生命保険(株)、ソニーマーケティング(株)、(株)Forchile  
サポーター：(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)毎日新聞社、KDDI(株)  
応援団：9社  
個人・ファミリーサポーター：58名  
(2015年9月30日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。



## そらべあ便り vol.24

2015年9月発行  
編集：加藤聡

NPO 法人そらべあ基金  
〒105-0004  
東京都港区新橋2-5-6  
大村ビル8F  
TEL：03-3504-8166  
FAX：03-5157-3178  
<http://www.solarbear.jp>

## そらべあ便り

Sorabear Newsletter | Vol.24

太陽の下、  
青空環境教室を  
行いました！



[www.solarbear.jp](http://www.solarbear.jp)

REPORT

## 大阪で初開催！ 「学びのフェス2015in関西」

そらべあ基金は8月29日、毎日新聞社主催「学びのフェス2015in関西」にブース出展し、太陽光発電の仕組みや地球温暖化について学ぶワークショップを開催しました。

これまで毎日新聞社本社（東京都千代田区）で行われ、好評だった同イベント。初めてとなった関西での開催は、約700名の参加者で賑わいま

した。そらべあ基金のワークショップにも約30名の小学生にご参加いただきました。

子どもたちに、太陽光パネルの特性を知ってもらおうと、ブースでは「結晶系」と「アモルファス」の2種類のパネルを用意しました。どちらも同じシリコンから作られていますが、製品の厚みや発電効率に違いがあります。「結晶系」は厚みがありま

すが発電効率がよく、住宅などの屋根の上に設置されることが多い太陽光パネルです。一方「アモルファス」は、「結晶系」に比べると発電効率は劣りますが、薄くて軽いという特徴があるため、ソーラー電卓や屋外用のLEDライトなどに使われています。

また、太陽光で動くLEDライトを分解し、発電された電気がLEDライトにつながっている様子を観

察しました。小さな機器の中は、充電電池やケーブル、電源スイッチなどの基盤が配置されており、子どもたちは興味津々に見つめていました。

そらべあ基金では今後もこうしたワークショップを開催していく予定です。参加したみんなの心に、電気を大切にする意識が芽生えてくれればうれしいですね。



REPORT

## 「KDDI×フォーチル×そらべあ」 @釜石ecoバス停プロジェクト第2弾

今年3月、そらべあ基金はKDDI株式会社（以下：KDDI）とともに、釜石市内のバス停に太陽光パネルとLED電灯を設置する「釜石ecoバス停プロジェクト」を実施しました。その際に設置を行ったのは、2012年にKDDIが寄贈した5つのバス停のうちの1カ所のみでしたが、7月17日、弾2弾プロジェクトとして、残りすべてのバス停に太陽光パネルとLEDを設置しました。

今回は、オフィシャルサポーターである株式会社Forchile（以下：フォーチル）、KDDI、そしてそらべあ基金の3団体でのプロジェクトです。釜石市役所の担当者によると、3月に設備を設置したバス停では、日が暮れて暗くなるとしっかり明かりを照ら

しており、地域の方から感謝されているとのこと。今回新たに設置した4カ所のバス停も、長く大切に使用していただけそうです。

釜石市では、2019年のラグビーワールドカップ開催地に選ばれ、また今年7月には、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」として橋野鉄鉱山・高炉跡が、世界文化遺産に登録されました。さらに来年は国体も開催されるなど、多くの人が釜石市に足を運ぶことが予想されます。わたしたちが支援したバス停も、たくさんの方にご利用いただくことになるでしょう。今後も釜石市と何か一緒できること楽しみにしております。



